

## 第4次計画からの社会情勢の変化

- ①激甚化・頻発化する自然災害、②人口減少等による地域社会の変化、③国内外の経済状況の変化、④加速化するインフラの老朽化
- ⑤デジタル革命の加速、⑥グリーン社会の実現に向けた動き・ライフスタイルや価値観の多様化

新型コロナウイルス感染症による変化（デジタル化の必要性、サプライチェーンの国内回帰、地方移住への関心の高まりや東京一極集中リスクの認識拡大等）

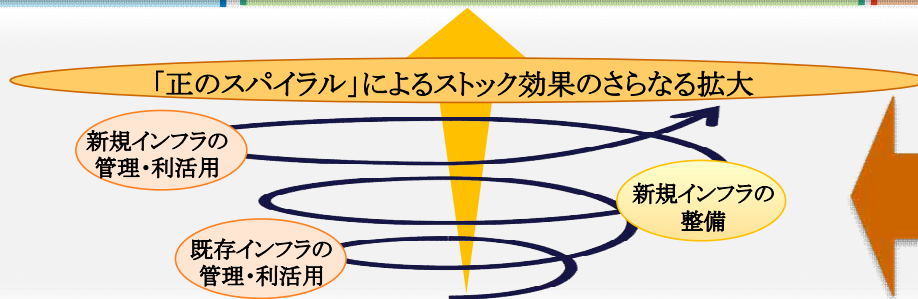
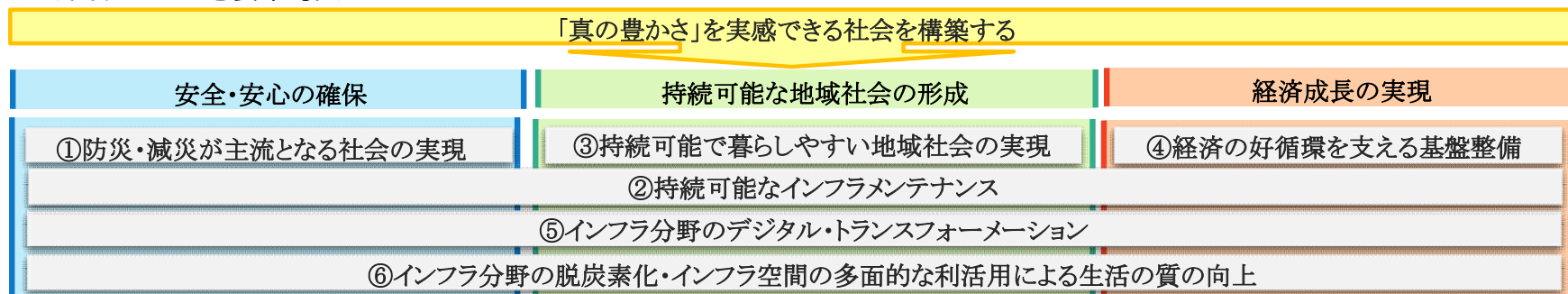
## 社会資本整備の取組の方向性

### 【社会資本整備の中長期的な目的】

- 国民が「**真の豊かさ**」を実感できる社会を構築する。
- そのため「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」、「経済成長の実現」の**3つの中長期的目的**に資する社会資本を**重点的に整備し、ストック効果の最大化**を目指す。

### 【5年後の短期的目標及びその達成に向けた取組の方向性】

- 3つの中長期的目的及び社会情勢の変化を踏まえ、**5年後を目標に6つの短期的目標**を設定。
- 特に、**ウィズコロナ・ポストコロナ時代の「新たな日常」の実現**のため、インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーションやサプライチェーンの強靱化・最適化、新たな人の流れを支えるための基盤整備等に取り組むことが必要。
- 目標達成に向け、社会資本整備の**ストック効果を最大限発揮**させるためには、社会資本整備に「**総力**」、「**インフラ経営**」の視点を取り入れ、「**正のスパイラル**」を生み出すことが必要不可欠。



- ✓「**総力**」 「3つの総力(主体・手段・時間軸)」を挙げ、社会資本整備を深化
- ✓「**インフラ経営**」 インフラを国民が持つ資産として捉え、その潜在力を引き出すとともに、新たな価値を創造の視点を追加

社会資本整備の  
ストック効果を  
発揮するための  
取組の方向性

持続可能で質の高い社会資本整備を下支え

計画的な社会資本整備を支える安定的・持続的な公共投資の確保 質の高い社会資本整備を支える建設産業の生産性の向上や担い手の確保・育成

## 重点目標1

### 防災・減災が主流となる社会の実現

- 1-1 気候変動の影響等を踏まえた「流域治水」等の推進  
(「流域治水」等の推進)
- 1-2 切迫する地震・津波等の災害に対するリスクの低減  
(公共土木施設等の耐震化等)
- 1-3 災害時における交通機能の確保  
(災害に強い交通ネットワークの構築)
- 1-4 災害リスクを前提とした危機管理対策の強化  
(TEC-FORCEの高度化や避難体制の確保等)

## 重点目標2

### 持続可能なインフラメンテナンス

- 2-1 計画的なインフラメンテナンスの推進  
(予防保全への転換やメンテナンス体制の確保)
- 2-2 新技術の活用等によるインフラメンテナンスの高度化・効率化  
(新技術やデータ活用の促進)
- 2-3 集約・再編等によるインフラストックの適正化  
(施設の集約化・複合化等の取組推進)

## 重点目標3

### 持続可能で暮らしやすい地域社会の実現

- 3-1 魅力的なコンパクトシティの形成  
(コンパクト・プラス・ネットワークの推進、オープンスペースの充実等)
- 3-2 新たな人の流れや地域間交流の促進のための基盤整備  
(道路・鉄道・航空・海運等の交通ネットワーク整備)
- 3-3 安全な移動・生活空間の整備  
(子どもや高齢者等の安全確保)
- 3-4 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進  
(公共施設等のバリアフリーや心のバリアフリーの推進)

## 重点目標4

### 経済の好循環を支える基盤整備

- 4-1 サプライチェーン全体の強靱化・最適化  
(物流ネットワークの構築、物流DX)
- 4-2 地域経済を支える観光活性化等に向けた基盤整備  
(国際空港の機能強化、観光客受入環境整備等)
- 4-3 民間投資の誘発による都市の国際競争力の強化  
(都市の国際競争力強化、PFIによる官民連携)
- 4-4 我が国の「質の高いインフラシステム」の戦略的な海外展開  
(海外展開に取り組む企業支援)

## 重点目標5

### インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション

- 5-1 社会資本整備のデジタル化・スマート化による働き方改革・生産性向上  
(データプラットフォームの構築、建設現場におけるDXの推進等)
- 5-2 新技術の社会実装によるインフラの新価値の創造  
(スマートシティやAIターミナル等の推進)

## 重点目標6

### インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上

- 6-1 グリーン社会の実現  
(地球温暖化対策、グリーンインフラ等の推進)
- 6-2 人を中心に据えたインフラ空間の見直し  
(居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出、インフラツーリズムの推進等)